

JET からの手紙

日本での3年間

熊本県嘉島町教育委員会 外国語指導助手

Spencer Jiro Viernes (スペンサー・ジロー・ヴィアネス)

ご挨拶

こんにちは。ニュージーランドウェリントン出身のスペンサー・ジロー・トリニダード・ヴィアネスと申します。日本に来てからの3年間、私は外国語指導助手 (ALT) として多くのことを学ばせてもらいました。中でも、日本文化に惹かれました。日本ならではの歴史や伝統にあふれた美しい国です。日本文化に触れることで、日本語まで学ぶことができました。

また、小中学校で英語を教えることで、多くの経験を得ることができました。生徒たちがいつも意欲的に勉強し、英語で話しかけてくれることが嬉しく、やりがいとなっています。ALT として、日本の英語教育を少しでも変えていけたらと思います。

日本に来たばかりの頃は、日本語を流暢に話すことができませんでした。そのためコミュニケーションが大変でしたが、周囲の方々はそれを理解して親切に接してくださいました。日本の社会に溶け込んでいくうちに、私は日本人のように相手のことを考え、思いやることを学びました。日本の奥ゆかしさを感じることができました。

日本は文化や伝統が季節とともに組み込まれており、景観がとても美しいと感じます。季節の移り変わりとともに、日本の四季を体感することができました。地元のお祭り、季節の食べ物、人々との出会いは、私がいつも楽しみにしていることです。自分で体験してみないとわからないことが多々あります。

熊本県嘉島町

皆さんは九州の真ん中に位置する熊本県をご存知でしょうか。くまモンは聞いたことがあるのではないのでしょうか。熊本県といえば、くまモンが有名です。また、

難攻不落のお城、熊本城があったり、活火山の阿蘇山が最高です。また、熊本県は交通の利便性が高く、九州各県や日本各地に簡単にアクセスできるところがとても気に入っています。私の勤務地は嘉島町という人口1万人の小さな町で、熊本県の中央部に位置し移動に便利です。嘉島町は、大きな河川に囲まれ、地下水が豊富で、私が住んでいるところは水道を地下水でまかなっており、水道代が無料です。水が豊富なことから「水の郷」とも呼ばれています。そのため、きれいな水で育った美味しい野菜を一年中食べることができます。ビール工場や大きなショッピングモールもあり、とても恵まれた環境にいます。

嘉島町ホームページ
二次元バーコード

コロナ対策くまモン



夜の熊本城

日本を探検して

日本といえば、東京や大阪などの大都市が思い浮かぶかと思います。高いビルと密集した都市のイメージは、私たちが普段メディアで目にするものですが、実はそれだけではなく、日本には、絵画のような美しい場所がたくさんあります。それらを訪れないのはもったいないです。私は冒険が大好きなので、全国各地への旅はとても胸が弾みました。そして、大都市から地方、離島



天草のえびす像



自作の手作りだいふく

まで、日本にはこんなところがあったのか、と発見がありました。同じ日本の中でも、地域それぞれ独自の背景があります。その土地ならではの方言、伝統、食べ物、美術工芸品、言い伝えなどがあり、とても素晴らしく、興味深いです。全国を巡る中で、地域の方々と出会い家族のような友人もできました。これらは、私にとって忘れられない思い出です。また、多くの人と出会うことで、社会に還元したいと思うようになりました。

National AJET

私はボランティアに情熱を注いでいます。National AJET と熊本 AJET に所属し、ボランティアで活動しています。これらの活動が JET プログラムに大きく貢献できていることにやりがいを感じています。外国人と日本人の架け橋となるために、積極的に関わるように努めています。JET プログラムはさまざまな国から参加するため、AJET に参加することで、それぞれの国の文化への理解が深まりました。JET プログラム参加者のコミュニティをより良くするために、イベントなどの開催を支援しました。そして、驚くことに私は現在 National AJET の会長を務めています。2022 年の 11 月には、会長として JETAA 国際会議に出席し、歓迎レセプションにおいて挨拶をさせていただきました。JETAA の会議に参加したのは今回が初めてでした。JET 経験者たちの貴重な経験談や意見など、会議に参加して学び得たものを今後の AJET の活動に生かしていきたいと思います。帰国した人の多くは、今でも多くの JET プログラムのイベントや日本のお祭りに参加しています。1 つ確かなことは、「1 度 JET になったら、いつも JET



JETAA 国際会議に参加した様子

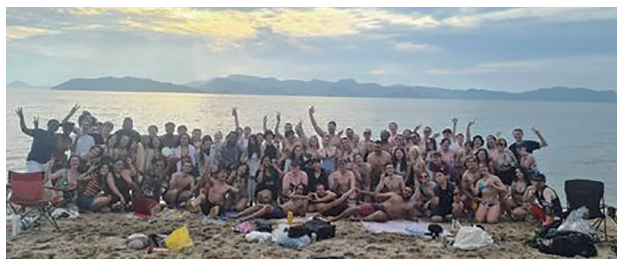


レセプションでの挨拶（中央が筆者。両脇は AJET 各ブロック代表）

である」ということです。それが私の誇りです。

終わりに

私は熊本県での生活を日々楽しんでます。そして、日本にはまだまだ探検したいところがたくさんあり、そこでの新たな発見が楽しみです。時間が経つのは早いもので、この 3 年間はあっという間でした。ニュージーランドに帰っても、JET プログラムの経験を伝えたいと思います。これからどんな人たちに伝えていくかわくわくしています。また、日本に来て皆さんに会えるのを楽しみにしています。



芦北御立岬海岸ビーチパーティ

プロフィール



Spencer Jiro Viernes

スベンサー・ジロー・ヴィアネス

ニュージーランドウェリントン出身。フィリピン生まれ。環太平洋大学国際教育学部で日本語を専攻。日本の子供たちに生きた英語を教えながら日本の文化や言語などを学び、日本と外国の架け橋になりたいと考え、JET プログラムに参加。将来は、日本語の通訳者になることを希望している。趣味は、読書とバドミントンすること。